

2018年7月25日

スカパーJSAT 株式会社

総務省公募案件

「衛星通信における量子暗号技術*の研究開発」受託について

スカパーJSAT 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長：高田 真治）は、総務省公募案件「平成30年度 情報通信技術の研究開発に係る提案」における「衛星通信における量子暗号技術の研究開発」課題について提案を行った結果、受託先として選定されたことをお知らせします。

宇宙産業は成長産業の一つとして注目されており、なかでも人工衛星は様々な用途での活用が期待されています。利用の拡大が見込まれるデータ通信においては特にセキュリティレベルのさらなる向上が求められており、スカパーJSAT は今回の選定結果を受け、超小型衛星や航空機等に搭載可能な量子暗号通信技術を開発し、計算技術が進展しても盗聴解読やデータ改ざんの脅威に対抗しうる安全性を備えた衛星通信網の実現に貢献していく所存です。

スカパーJSAT は、これまで宇宙事業で培った知見と創意を活用し、今後も宇宙産業の発展に貢献してまいります。

（参考）総務省ホームページ：平成30年度 情報通信技術の研究開発に係る提案の公募の結果 2018年6月14日

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000247.html

*計算技術が進展しても解読の危険性が無い暗号技術

以上